



「子どもコーナー」プレオープン！

静岡 静岡県立中央図書館では、このたび「子どもコーナー」を開設し、直接「子ども」が本を手に取り、読書に親しむことができる環境をご用意しました。このコーナーは、どなたでも入室することができ、書棚にある絵本や読み物を読んだり、借りたりすることができます。

◆開室日◆

令和2年5月17日（日曜日）から
令和2年9月27日（日曜日）の**毎週日曜日**

◆開室日時◆

12時30分から16時まで
※基本的に日曜日のみ開室ですが、それ以外の時間帯でご利用になりたい方は、総合案内カウンターに申し出てください。

このコーナーでは、絵本約200冊（10月から約5,000冊）、読み物は約1,000冊をご用意しています。新しいコーナーにぜひお立ち寄りください。

「子どもコーナー」愛称募集！

子どもコーナーは、10月のオープンに向けて、コーナーへの親しみがわくような愛称を募集します。

◆応募方法◆

- 1 来館して申し込む。
総合案内カウンターに応募用紙をご用意しています。
- 2 ウェブで申し込む。
下記URLより応募することができます。
<https://forms.gle/h5YN6ffdhDCHUALX6>

新着資料から

知識



『パンダの赤ちゃん
ほんとうのおおきさでみて
みよう!』
ひさかたチャイルド
2019年12月

パンダの赤ちゃんってどんな風に育つのかな？

本書は、赤ちゃんパンダの成長過程を追った写真絵本。生後0日目、30日目、6ヶ月目の赤ちゃんは、実物大の写真が掲載され、耳や目、足や尻尾など体の様子についての説明も。各段階での成長を具体的に知ることができる。また、身体面の成長以外にも母パンダとの関わりや、歩く、遊ぶ、固い竹を食べるなど赤ちゃんパンダが成長段階でできるようになることも写真で追っている。大人向けの解説文もあり、より深く理解するのに役立つ。【幼児から】（安田）

絵本



『へてかへねかめ』
おふろでね
宮川 ひろ／作
ましま せつこ／絵
童心社
2019年10月

そうたはじいちゃんとお風呂が大好き。頭を洗っておしゃべりして、さあ、湯船に入ってあったまろう。「へてか へねかめ かめかめ かめか…」3回唱えたら体は「ほあほあ」。

幼児向けの絵本を多く手掛ける画家によるあたたかな色遣いの絵は、たくさんの亀やとんぼなど、子どもが自由に想像した世界が広がる。不思議な唱え言葉は、著者が知人から「子どもの頃母親や祖母から風呂で唱えてもらっていた」と教わった。長年児童文学に携わった著者の最後の作品となった。【幼児から】（眞子）

子ども図書研究室 事業

◆「新刊サロン」のご案内

子ども図書研究室では、今年も「新刊サロン」を開催します。新型コロナウイルス拡大予防のため、初回はYouTubeによる配信を行います。今後の詳細については当館webサイトをご覧ください。



- 日時：6月17日(水)
10時から配信予定(24時間限定配信)
- 視聴方法:当館ウェブサイトからURLをクリック
- 申込:不要
- 今後の開催日:8月19日(水)、10月14日(水)、
12月19日(土) 令和3年2月
17日(水) ※今後の開催方法については未定です。
- 問合せ: 県立中央図書館
(静岡市駿河区谷田53-1)
電話:054-262-1246 FAX:054-264-4268
webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

◆「子ども図書研究室」をご利用ください

「子ども図書研究室」では、児童書、絵本及び子どもの読書に関する参考図書を置いています。児童書・絵本の選択や内容、幼児期における本の与え方の研究などにご利用いただけます。また、各地域で子どもの読書活動を推進している公立図書館、学校図書館、地域の大人の皆さんの情報交換、交流の場としてもご利用いただけます。

- 場所: 県立中央図書館1階
- 利用対象: 15歳以上の大人(中学生を除く)
- 利用時間: 午前9時~午後5時(火~金の午後2時~5時は職員が在室。その他、2階総合案内カウンターへの申込みで開室いたします(要利用者カード))
- 団体利用: 選書会等の会場としてご利用いただけます。時間は火~金の午前9時~午後5時まで(休日および休館日を除く)ですが、それ以外でも相談に応じます。※新型コロナウイルス拡大防止のため、利用人数の制限などを行う可能性があります。
- 資料紹介: 平成15年度以降に発行された児童書(コミック、参考書などは除く)を網羅的に収集しています。
- 研究書・雑誌: 子どもの本や子どもの読書に関する大人向けの図書や雑誌を収集しています。

新着資料から

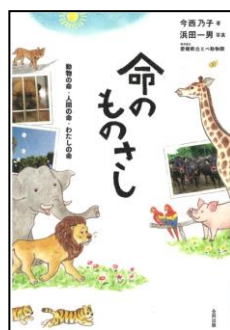
読み物



『ぼくの帰る場所』
S.E.デュラント/作
杉田 七重/訳
鈴木出版
2019年10月

ロンドン・スタジアムの近くに住むAJに走る喜びを教えてくれたのは祖父。中学生になったら学校のトラックで走ることが何より楽しみだった。でも、学習障害を持つ両親との生活を支えてくれていた祖父が急死。光熱費の請求書が届いてもどうすればいいかわからないし、ランニングシューズが小さくなくても家にお金があるとは思えない。祖父の死が知られたらお金の管理も書類の処理もできない両親とは引き離されてしまうかもしれない。悩んだAJは自分で何とかしようとするが…。【中学生から】(眞子)

知識



『命のものさし』
今西 乃子/著
合同出版
2019年11月

愛媛県の公務員獣医師である渡邊清一さんは、野犬を駆除する保健部や食肉衛生検査センター、動物園等に勤務し、長年の間、多くの“命”に携わってきた。動物園で広く愛される生き物がいる一方、捨てられる命、食べられる命もある。様々な現場での動物達の“死”から“命”を学んできた。渡邊さんは捨てられた犬猫の殺処分施設を公開するなど、広く人々に“命”について問い、自らも考え続ける。人間の勝手な都合で測られる命。重い問いだが、考えるきっかけを持てる一冊。【小学校高学年から】(安田)